



あじさいネット OFF LINE 通信

vol. 8



長崎くんち 樺島町「太鼓山」

写真提供：橋本 清 先生（ハシモト耳鼻咽喉科医院）

目次

会員様の声

| | | |
|-----------|-----------|---|
| 吉田内科クリニック | 吉田 知之 先生 | 2 |
| 出口外科医院 | 出口 雅浩 先生 | 3 |
| 加瀬クリニック | 加瀬 真一郎 先生 | 4 |
| サンタ薬局 | 井石 政之 先生 | 5 |

情報提供病院のご紹介

| | |
|--------------------|---|
| 佐世保市立総合病院 地域連携室 | 6 |
| 佐世保中央病院 地域医療連携センター | 7 |

あじさいネット キーパーソンに聞く

| | |
|-------------|---|
| 富士通 森田 嘉昭 氏 | 8 |
|-------------|---|

あじさいニュース 新規情報提供病院のご紹介 他

| | |
|--------------------------------|----|
| 情報提供病院のあじさいネット登録受付時間一覧、表紙撮影☆談話 | 10 |
|--------------------------------|----|

現在の運用状況

(平成 25 年 9 月 15 日現在)

| | |
|----------------------|----------|
| 患者登録数 | 30,050 名 |
| (全件あじさいネット説明同意書取得済み) | |
| 会員数 | 374 名 |
| 情報閲覧施設数 | 203 施設 |
| (内、薬局数 33) | |
| 情報提供病院数 | 21 施設 |

賛助会員

- (株)ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- 三菱化学メディエンス(株)
- 富士通(株)長崎支店
- (株)NTT データ 公共システム事業本部
- 山下医科器械 (株)

基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。



『あじさいネットは、患者さんの不安を取り除く』ツールです。

日常の診療であじさいネットはよく利用します。前述した事例の他に、中核病院での病理検査の結果を待つ間、強い不安感を抱える患者さんの不安を取り除くために利用することもあります。特に癌の疑いのある患者さんで、今後の事を非常に心配して来院される方に対しては、「あじさいネットで結果を確認して「心配ありませんよ」とか「ちよつと手術ばせんばいかんよ

患者さんの今後に対する心構えや、不安を取り除くためにも「あじさいネット」は有効です。

設立当初に、元諫早医師会長の高原晶先生に誘われ入会しました。中核病院に紹介した患者さんの状態やデータを把握できること、患者さんのご家族に入院中の患者さんの状況をできるだけ分かりやすく説明できること、そして、退院後の患者さんのフォローとして、今後の診療にITネットワークツールを活用していきたいと思入会しました。

入会のきっかけ



・ DOCTOR'S PROFILE ・

S62年 久留米大学医学部卒
H8年 吉田内科クリニック開業
H16年 あじさいネット設立当初に入会

- 諫早医師会理事
- あじさいネット理事

諫早市宇都町

よしだ ともゆき

吉田内科クリニック 吉田 知之 先生

TEL : 0957-22-2962

「うな結果が説明されると思いますよ。」といったお話しをします。勿論、確定診断の詳細な説明は、検査をされた主治医からして頂くので、あくまで患者さんの不安を取り除き、心の整理をして頂くために話します。そうする事によって今後に対する心構えにもつながっていきます。また、中核病院でどうしても説明を充分聞けなかった患者さんには、落ちていて当院に来院された際に、あじさいネットと一緒に画像を見ながら詳細な説明をする、安心されますね。

また、あじさいネットの利用は、中核病院で現在、使われている薬や最新の治療法の勉強ができますので、私たち開業医のスキルアップに大きく貢献すると考えています。

県央地区で開催される運用講習会では、学習効果も目的としてあじさいネットは展開していますといった説明もしています。

キーマンを作って

あじさいネットの普及を

あじさいネットは年々ネットワークが拡大し、大村、長崎、五島、県北と拡がり、今年八月に諫早総合病院が情報提供病院の運用を開始しましたので、心強く思っています。

今後は、諫早地域や島原市医師会・南高医師会の先生方にも拡がっていくよう普及・広報活動をしていけたらと考えています。また、あじさいネットを諫早の薬剤師の先生にも拡げていくための広報も行っています。今春、諫早薬剤師会の勉強会でも、あじさいネットの説明会を開催しました。

●●吉田先生に伺いました！●●

Q. あじさいネットに入会する際、吉田先生にとってのキーマンはどなただったんですか？

A. 高原先生です。私が諫早に帰ってきた年だったかな、諫早の健康福祉祭りで出会いました。第一印象が強かったので、今でもよく覚えています。それから、高原先生と色々一緒にさせて頂いています。

Q. 趣味は何ですか？

A. バスケットです。学生時代から続け、プロパーさんや薬剤師の先生方とよく集まっています。センターやっています。最近は会議等多く、できていないですね。

Q. その他の趣味は？

A. ドライブです。週1回、診療後、久留米の血管造影検査で往復していますが、車の運転は全然苦になりません。年間4万キロ走ります。

私は、何にせよ『普及』にはキーマンを作る事がポイントだと考えています。一人、キーマンになって頂いて、その先生から宣伝してもらい、あじさいネットの輪が広がっていく形が理想ですね。私自身、現在、県央地域で開催される運用講習会では講師を務めさせて頂いています。今後もあじさいネットの普及に寄与していけたらと思います。そうする事によって、あじさいネットが長崎県下全域を網羅するネットワークへと成長し、『再診ゼロの地域完結型医療』の実現へとつながっていかばと思います。

Q. 日常の診療で心掛けている事を教えてください。

患者さんや家族にとってドクターの言葉は、大変心に響きますので、出来る限り患者さんの立場にたった説明を心掛けています。患者さんの視点に心を配り、自分の家族だったらどうするか？と考えます。例えば九十近くの方から手術の相談をされた時は「自分の親だったらこうします。」といったお話しをしています。



並診、緩和ケアにあじさいネットを有効利用しています。



・DOCTOR'S PROFILE・

H元年 杏林大学医学部卒 長大第一外科入局
 H14年 出口外科副院長
 H21年よりあじさいネット会員
 ■長崎在宅Dr. ネット理事
 ■長崎市あじさいネット準備委員会 委員

「病診連携の新たな取組み」 並診であじさいネットを活用

近年、新たな病診連携の取組みとして、癌化学療法は大学病院などのがん拠点病院の外来化学療法室で行い、その間の副作用対策はかかりつけ医で診る『並診』といわれるがん治療が増えています。

がん拠点病院から並診を依頼される患者さんは、抗がん剤治療が徐々に効かなくなってくる事をごん拠点病院の先生方も予測されているので、最終的に我々長崎在宅Dr. ネット会員といたった在宅療養を担当できる開業医が受け皿となります。

そこで、あじさいネットを利用すると、がん拠点病院での治療中の状態や治療内容を確認することができます。患者さんの病状が手に取るように分かりますし、進行も予測できます。

また、患者さんにCTやMRI画像をあじさいネットを通して当院で説明する事で、がん拠点病院の主治医には聞けなかったことを確認されるケースや、がん拠点病院と当院で撮影した

長崎市大浦町

出口外科医院

でぐち

まさひろ

出口 雅浩 先生

TEL : 095-824-7890

Email: d.o.s.cli@har.bbiiq.jp

CT画像を見比べながら「この一か月間でこれだけ変わりましたよ。」といった説明をする事も多いです。

診療の中で、徐々にこちらの方から「ちょっと抗がん剤が効かなくなってきたね。」とか「腫瘍が大きくなってきたね。」とお話しをします。患者さん自身も自分の病状をゆっくり認識する時間ができて、先を考える余裕もできていきます。最終的には、療養の場所を選択するだけの時間的余裕も生まれますし、我々町医者として知り合う事で、もしかしらこのまま家でも療養できるのではないかという思いも持たれるようですね。

「あるがままに」の緩和ケア実践

療養の場については、徐々にですが、患者さんが一生懸命迷いながらも選択肢を持てるようになってきました。Dr. ネットではグループ診療を行うことにより、長崎市内の在宅医療の受け皿となっています。

高品質な医療の提供とグループ診療のスムーズな展開のために、あじさいネットの検査データやDr. ネットのMLを利用していただく。Dr. ネットのシステムやあじさいネットの機能により、先日も、癌が再発して、最後に入院されるまで、患者さんご本人の希望通りずっと働く事ができた方もいらっしゃいました。在宅医療体制を整え、抗がん剤を上手に使った緩和ケアにより、延命化学療法が実践できることを実感します。

今後あじさいネットに期待すること

中核病院だと、一つの電子カルテを色々な

●●出口先生に伺いました！●●

Q. 出口先生にとって長崎在宅Dr.ネットとは？

A. クラブ(部活)みたいなもの。皆で『放課後集まって何かやろう』といった雰囲気かな。学生は部活終わって、帰りに買い食いしたりしますよね。僕らは会議の熱論の後には、そのまま飲みに行ったりします(笑)。

Q. 好きな言葉

A. 「お互いさま」。医療者同士のみならず、患者さんとの関係も「お互いさま」だと思います。専門職としてアドバイスをしながらも、相手は友人であったり、同級生だったり、知り合いからの紹介だったりする、その方たちとも、この場を抜けて外に出ると「ようっ！」って友だちになるわけで・・・やっぱり人間って助け、助けられして生きているので、「何かあってももうお互いさまだから」みたいなね。

Q. 趣味

A. 夏は海で遊ぶ、冬は雪山に行ってスキー。本当にしたい事は、『プレジャーボート買って海をばーっと走る!』ですが、なかなかお金がたまらないのでまだ実現は先になりそうです。ボートの操縦免許、ダイビングの免許を持っています。

職種の方が同時に見れますよね。今後は在宅診療でも、多職種の方々と患者さんの状況を共有できるようにしていきたいですね。連携医療機関とはもっと密に連絡をとりたいたいのですが、詳しい情報交換が出来ません。早くsecureメールを使って、あじさいネットの中で意見交換が出来るようになればと思います。今、計画されているモバイル利用の試みも楽しみです。

医療連携を担う、次世代をつないでいく役割

私たちより下の世代がなかなか少ない、そのような中で、世代をつないでいく役割も私たちにはあります。四十代前半で開業されている先生方には是非参加してもらい、次に中核になっていってもらえればと思います。

ですから今後も長崎市医師会の講演会の際にあじさいネットの会員募集のキャンペーンを企画したりと、そういう事を皆で色々画策しています。

在宅訪問に向かう前に、「あじさいネット」で全体像を把握します。

佐世保市立総合病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎労災病院で継続して定期的に診て頂いている患者さんが、当院に逆紹介があった場合、主治医の紹介状だけでは充分に分らないところがあります。あじさいネットを利用すると、紹介状と添付されたデータだけでは分からないこれまでの病歴や以前の血液検査といった[※]が把握できるので有益です。

逆紹介時にあじさいネットを活用

県北へのあじさいネット導入にあたり
佐世保中央病院の米満伸久先生が中心となり情報ネットワーク委員会を立上げ、中村貴先生や私たち医師会員が委員となり、県北地域へのあじさいネット導入は進められました。
従来から佐世保中央病院が運用しておられた医療連携ITネットワーク『メディカル・ネット99』が診療に非常に役立っていましたので、そういったネットワークが県北の中核病院全体に拡がっていくのでしたら非常に便利になると思い導入を進めました。



・ DOCTOR'S PROFILE ・

H 6年 九州大学医学部卒
H13年 加瀬クリニック継承
H24年よりあじさいネット会員

佐世保市日宇町 加瀬クリニック 加瀬 真一郎 先生

TEL : 0956-32-5656 E-mail: skasejp@gmail.com

在宅医療でのあじさいネット

在宅医療では、がん末期の患者さんを担当することが最も多いです。中核病院から当院のかかりつけでない患者さんの在宅医療を、依頼されるケースも少なくありません。そういった場合も、あじさいネットを利用して、元々受診していた診療所や紹介を受けた経緯、治療法を確認しています。

最終的に看取りをする時は、患者さん本人だけでなく、ご家族との関係も重要になってきます。今まで利用していたメディカル・ネット99では、看護記録の中の、患者さんやそのご家族に説明した時の内容や、ご家族の様子といった事を参考にしていました。

また、がん認定看護師による記録で『主治医がこういうふうに説明して、家族がこういうふうに納得された』とか『病気に対しての受け入れがまだ充分でない』とか『自分の病気を受け入れてる』といった記述も参考にしています。

がん末期の患者さんは長くて一、二か月、短い時は三、四日で最期を迎えられます。その短期間に患者さんの情報を把握した上で、在宅訪問に向かう必要がありますから、あじさいネットでも、短時間で簡単に全体像が把握できるような情報が閲覧できるようになればと思います。

私たち医師は、患者さんの最期を安らかに看取ることが一番の目標です。痛みがある方には、痛みを最小限に抑える最善の処置を行うと共に、スピリチュアルケアを行います。

患者さんに「この先生に最期来てもらって良かったな。」と思って頂きたいですし、ご家族の満足度も大事だと思います。

今後、あじさいネットに期待すること
今後は、おそらくフリーアクセスの制限がかり『あなたは何かあった時、最初の医療機関にかかりますか?』と個人で選択し、特に内科はかかりつけ医(ホームドクター)がゲートキーパー的な役割を担うようになり、ホームドクター↓中核病院(専門病院)という仕組みになっていくと思います。

そうすると中核病院・診療所間の情報の遣り取りの重要度が更に高くなってきます。症状が重い患者さんは、急性期は中核病院に掛かり、状態が安定してきたらホームドクターを受診し、半年から一年に一回、検査等のため中核病院を受診するようになります。

そういった際に、あじさいネットを利用して、入院中の治療法、外来での検査、治療内容を診療所のパソコンで見ることが出来る事は有効ですし、患者さんの安心も増すと思います。

座右の銘を教えてください。



座右の銘はこれといったものはないですね。基本的には『人生は楽しく生きよう』です。それはそうですね。でも楽しく人生、生きるためには努力をしなくちゃいけないという事です。楽(らく)だけはありえないですからね。

今後のあじさいネットの拡がりに期待 - 薬局からも情報発信を。



・井石 政之 先生 PROFILE・

H 4年 長崎大学薬学部卒
H14年 サンタ薬局開局
H24年 よりあじさいネット会員

あじさいネットで、在宅の患者さんの退院後の服薬指導がよりスムーズに。

先輩薬剤師に勧められて、少しでも患者さんの役に立つのであればと思います、入会しました。

以前は、在宅医療（P・ネット）の患者さんで、入退院を繰り返される方や短期入院される方の情報把握が難しかったのが、あじさいネットを利用すると、ドクターや看護師さんが書き込んだ記録や検査値を元に、ある程度把握が出来ます。入会して間もないですが、現時点では、在宅医療の中で一番役立っています。

外来でのあじさいネット利用法
・ 日常の服薬指導の現場で

外来に関しても、退院後、初めて処方箋を持って来られる際は、なかなか病名とかは聞きづらいのですが、手さぐり状態の中、コミュニケーションをとりながら出来るだけ色々な情報を伺うようにしています。あじさいネットを利用すると、多くのケースでその薬が処方されている目的と根拠がはつきり分かります。

長崎市平山町

サンタ薬局

いせき まさゆき

井石 政之 先生

TEL : 095-898-5430 E-mail : san33ta-ph@woody.ocn.ne.jp

また、薬が途中で変更になった場合も、変更になった経緯がある程度予測がつかます。私自身も若い頃から薬はきちんと理解して納得した上で飲んだ方が良くと考えてきましたので、患者さんには、納得して頂ける丁寧な服薬指導を提供したいと思っています。そのツールとしてあじさいネットは有効だと思います。

薬局のこれからと
今後あじさいネットに期待すること

私は自分の薬局に来られる患者さんについては、赤ちゃんの時からお年寄りになって亡くなるまで、ずっと責任をもってお世話したいと思っています。現時点では在宅医療をさしていいない薬局もありますし、また在宅医療に取り組んでいる度合も各薬局違います。将来的には、『A薬局でずっと薬もらっていたのなら、A薬局で在宅訪問も含めて最後まで面倒をみましょう。』という形が理想的だと考えています。

薬局からも情報発信を！

現在のあじさいネットは、ほとんどが中核病院からの情報提供の一方通行ですが、今後は薬局からも情報発信していきたいですね。例えば、『お薬はご自分で調整して飲んでいきます。』とか『飲み忘れがよくあります。』とか、家族の協力具合など、私たち薬剤師が持っている情報を書き込む事で、医療連携をスムーズにする一旦を担えるのではないかなと思います。ただ、どうしても異業種間だとすれ違いがあると思います。ドクターが薬剤師に必要としている情報や、在宅医療でケア

●●井石先生の最近一番心に響いた言葉●●

22、23歳の頃に死生観について考える時期がありました。その時に、やっぱり、これからは世のため、人のために頑張らないといけないなと深く思いました。それに似た言葉に坂本龍馬の言葉だったと思いますが、『人間は生きるために生まれてくるのではなく、世のため、人のために、事を成すために生まれてくるのだ』だったかな。そういう文章があったのを見て、あんなほのぼのって思ったんです。

そして30代後半くらいに、私、野球の野村克也さんが好きなんですが、野村さんが書いた『野村ノート』という有名な本があります。その中で『心が変われば人生が変わる』というタイトルの文章があります。その文章を読んだ時、衝撃を受けて、一番心に響いた言葉です。今ではそれをモットーにして、自分に出来る限りのちゃんとした信念をもって行動を起こすようにしています。

Q. 野球がお好きなんですか？

A. 野球、大好きですね。ヤクルトの大ファンです！

近隣の診療所・薬局の連携に期待

マネが薬剤師に対して知りたい情報が分からない所も大きいです。ですから、将来的にあじさいネットのMLで、お互いに質問して回答したり、困った時に相談できるようになればと思います。あじさいネットに参加しているメンバーで色々助け合っているたいですね。そうする事で、今、作成している報告書もより具体的なものにつながりますね。

うちの薬局に来られる患者さんの中には、耳鼻科、眼科、内科と色々な医療機関に掛かれている方がおりますので、よく診療所から「今、来院されてますけど、普段何のお薬飲まれてますか？」と問合せがあります。そういった際にスムーズに活用できればなどという事もありますね。

また近隣の診療所とデータ共有できれば、より実質的に役立っていくと思いますので、診療所・薬局がつながるシステムへと拡がっていく事に期待しています。

情報提供病院のご紹介

佐世保市立総合病院 地域連携室

佐世保市立総合病院は、平成24年3月に診療情報提供をスタートしました。

「1.チーム医療の実践 2.インフォームド・コンセントに基づいた医療 3.先進的な高度医療」を基本理念としています。

◆◆ Message / 江口 勝美 病院長 ◆◆



DOCTOR'S PROFILE

S45年 長崎大学医学部卒
 専門：内科（リウマチ・膠原病）
 H22年より現職
 ■長崎大学名誉教授
 ■H17.4-21.3 長崎大学病院長

佐世保・県北地区の拠点病院として
 緊密な地域医療連携を目指して

昨年四月に救命救急センターを開設し、初期、二次医療機関及び救急隊との連携強化に努めています。

地域医療連携における喫緊の重要課題に、退院調整があげられます。スムーズな退院調整には、地域の医療機関の先生方との緊密な連携は必要不可欠ですが、解決手段の一つとして、あじさいネットは大変有益だと考えています。

今年四月に、黒島診療所にあじさいネットを開設しました。今後は高島、宇久島地域にもあじさいネットを導入予定です。離島診療所との物理的距離を補完する一つのツールとしてあじさいネットが機能してくれればと思います。

あじさいネットを通じて、

最新の知識を地域医療に還元

現在の医療は急速に進歩しており、この十年、十五年間で治療法は大きく変わってきています。特にがん治療においては、化学療法が非常に進んできている状況です。

あじさいネットをうまく使えば、当院で実際に実践されている最新の医療を詳しく知ることが出来ます。

特に、慢性疾患においては当院で治療し、退院、逆紹介後、継続治療がうまくいかず、重篤になって救命救急センターに搬入されるケースもあります。このようなケースにおいても切れ目のない医療を地域全体で提供していくために、開業医の先生方には、患者さんへのきめ細かなフォローをお願いしたいと考えております。あじさいネットを通じて、最新の治療法を学んで頂き、自院での診療に活かして下さることを期待しています。

あじさいネットに期待すること

地域連携室では、患者さんやご家族の窓口のみならず、地域の医療機関とより良い連携を図るため、人員と機能の充実を進めてまいりました。例えば、当院に在籍する医師約二百二十人の内、年間四十人以上が入替わるため、若手医師が当地区での診療所の先生方との関係の薄い点は、地域連携室がフォローします。このように地域の先生方との信頼関係構築のための体制は出来ておりますので、あじさいネットには、医療情報共有の面で有効利用していければと考えています。

佐世保・県北地区は既に県央、長崎で熟成されたあじさいネットシステムに昨年より参加しましたので、元々のコンセプト、運用上の注意点が十分に普及していない面があると思われまます。今後は、『あじさいネット』についての啓蒙、周知のためのプログラムを組み、継続して行って頂ければと思います。

●地域連携室より

1. 笑顔、2. 親切、3. 丁寧をモットーにしています。

《あじさいネットへの要望》

登録と同時にかかりつけ医の先生方に登録完了のメールが送られればと思います。

データ集計作業がありますので、CSV機能があれば便利かと思えます。それとカルテ公開一覧のトップ画面に「参照可能期間」項目があったら便利とも思います。

《不具合時の対応》

富士通のシステム保守の方に連絡します。改善するには少々時間がかかりますので、迅速な対応をして頂ければ助かります。

《診療所の先生方へ》

時折難しい字がありますので、患者さまのフリガナのご記入をお願いいたします。



前列右から森内先生（血液内科管理診療部長 兼 経営企画課主幹）、江口病院長、中村先生（呼吸器外科診療部長 兼 地域連携室室長）、緒方主幹（看護部 地域連携担当）。後列右から尾崎室長（企画情報室）、一瀬医療情報技師（企画情報室）

ITネットワークに代表されるようにどんなに機能が進化していても、人と人のつながりが一番大切なことですので、例え間接的な遣り取りをしていますが「ドクター同士の顔が浮かぶ関係」が理想だと思えます。



「あじさいネット」キーパーソンに聞く

もりた よしあき

HumanBridge 開発部長 **富士通 森田 嘉昭 氏**

「地域医療連携システムの可能性を切り開いていきたい」

【HumanBridge】はあじさいネットと共に成長したパッケージです。

『あじさいネット』は、弊社が「n対nの地域医療連携システム」を構築させて頂いた最初のネットワークであり、弊社の地域医療連携システム【HumanBridge】はあじさいネットと共に成長してきました。

より現場に即したシステム構築のため、現場の先生方の声を聞くことを第一にしてヒヤリングした要件を毎年のレベルアップ項目に反映しておりますが、あじさいネットの先生方には特に先駆的なご意見を多く頂きます。現在、制度的な変更も含め、より良い機能を目指して数十のレベルアップ項目を開発中です。

また、弊社が事務局をしております《地域医療ネットワーク研究会》のグロース・アップWG（ワーキング）では、Human



■森田 嘉昭 氏 Profile■

入社後、オーダーリングシステム開発に携わる。1999年より電子カルテシステム及びPACS開発に携わる。現在は地域医療連携ネットワークシステム「HumanBridge」の開発チームを率いる。またクラウド製品全般の開発も行っている。

Bridgeをご利用の先生方に参加頂き、要望を伺うとともに仕様の検討を協議しますがこのWGに当初より長崎川棚医療センターの木村博典先生にもご参加頂いています。

【HumanBridge】構築時の思い出

現在のHumanBridgeはオンデマンド方式を採用しています。これは、従来ですとデータはサーバーに蓄積されていましたが蓄積せずにリアルタイムに電子カルテと通信して、最新のデータを抽出する方式です。我々「オンデマンド検索」と呼んでいます。複数の情報提供病院のデータをリアルタイムに抽出して一つの画面で表示することがHumanBridgeの最大の特徴です。

最新のデータを参照可能ですので、救急の現場や薬局連携に有効だと考えております。救急の現場で他医療機関の最新データをリアルタイムに参照できたり、服薬指導の際、直近のデータを参照できます。

このオンデマンド方式を全国に先駆けてテスト運用から導入させて頂いたのが国立長崎医療センターです。開発を手掛けたオンデマンド方式が、長崎医療センターで実運用されている現場を拝見した時、非常に感動したことを今でもよく覚えております。

それから、それまでの【HOPE地域連携】を刷新して【HumanBridge】と名付け、最初にあじさいネットに導入させて頂きました。

社会の動向と地域医療連携システム

中核病院の医療情報を、近隣の診療所が閲覧して診療行為に役立てる医療連携システムは、一昔前だったら考えられないことでした。

私は、電子カルテが世の中に出始めた当初から電子カルテの開発に携わってきました。電子カルテも「カルテの電子化」ですから、当時、画期的な社会システムでした。

しかし、今開発に携わっている地域医療連携システムは、医療分野により大きな影響を与え、将来、社会インフラになるシステムだと考えています。電子カルテは院内で完結するシステムでしたが、医療連携システムは自院のカルテのデータを公開するので責任を伴います。そういった面を考慮して、弊社では徹底的にテストをして品質を高めることを共通認識として開発にあたっています。

地域連携ネットワークの場合、ICTシステムだけではうまくいきませんので、人と人とのつながりがあった、初めてネットワークはできます。あじさいネットが全国的にみてもトップランナー的に成功している根幹には、牽引されている先生方が素晴らしいこと、地域医療をよくしていこうと皆で取り組まれていること、人と人との交流がうまくいっていることがあると感じます。

私もICTシステム在りきではなく、人と人とのつながりが地域連携を支えると思っています。HumanBridgeの名前も、社内で公募した多くの名前の中から選ばれ『人と人の架け橋になれるように』という思いが込められています。

今後、百床、二百床規模の医療機関の電子カルテ化が進んでいくと、更に爆発的に医療連携ネットワークが広がると考えています。

●現在進行中のプロジェクト● 8

在宅医療での機能の強化を検討しています。多職種の方が、お互い診療情報を提供して情報共有できる機能です。例えば、訪問看護師さんが訪問先で褥瘡を撮影した写真をアップロードした内容を、他の医療情報と併せて閲覧できる機能を開発して、今年八月に提供させて頂いています。

また今後ID-LinkとHumanBridgeの二つのシステムをつなぐ仕組みの標準化を計画しています。この仕組みが実現しますとHumanBridgeとID-Linkで公開されている画面をすべて同画面で閲覧できるようになります。

診療所と薬局の連携を目指したいと思っています。レセプトでしたらほとんどの診療所、薬局が導入されていますので、レセプトからデータを抽出してどういった薬をいつ飲んでいるかを共有するシステムを、現在、開発中です。このシステムが実現すると、例えばジェネリックに変えた薬が表示されたりといった、実際に患者さんに渡された薬を閲覧できるようになります。富士通の《処方箋の電子化プロジェクト》で、薬局との連携も進めていますので、その技術を使って地域連携分野にも活用したいと考えております。

あじさいネットにメッセージをお願いします！

これからも忌憚ないご意見を頂き、共に成長していきたいです。地域連携ネットワークが普及期にさしかかっている中、決まった形式はないと思っていますので、拡張機能、データを活用する機能といった『こういったものがあると、より地域の患者さんの健康を維持できたり、予防できたり、重篤化を防げる』といったことがあれば、我々どんどん開発していきたいなと思っています。それだけの体制もっておりますので、是非宜しくお願いします。

《あじさいニュース》

◆◇新規の情報提供病院のご案内◆◇

- 平成 25 年 8 月 1 日 健康保険諫早総合病院が情報提供病院として運用を開始しました。
- 平成 25 年 8 月 1 日 長崎県五島中央病院が情報提供病院として運用を開始しました。

テレビ会議システム進捗状況

今年 4 月よりあじさいネット拡充事業の 1 つとして、テレビ会議システムの運用が開始されました。テレビ会議が以下のように開催されています。（平成 25 年 9 月 15 日現在）

- 4/20（土） ■第 1 回長崎県医師会情報システム委員会（参加：19 名）
- 4/20（土） ■長崎県医師連盟 参議院議員選挙対策本部会議（参加：24 名）
- 5/11（土） ■第 4 回あじさいネット研究会（参加：229 名）
- 6/12（水） ■長崎県医師連盟 第二回参議院議員選挙対策本部会議（参加：22 名）
- 6/19（水） ■「警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」に関する研修会（参加：63 名）
- 7/27（土） ■日医生涯教育協力講座/ 共催：日本医師会・長崎県医師会・第一三共株（参加：74 名）
- 8/ 3（土） ■第 116 回長崎県医師会産業医研修会（参加：154 名）
- 8/ 4（日） ■第 117 回長崎県医師会産業医研修会（参加：127 名）

離島救急進捗状況

離島・救急医療支援システムでは、簡単な操作で、画像と依頼文書の電送ならびに DICOM データを利用することで従来以上の高品質な画像の伝送が可能になりました。県内離島地域の 13 施設と連携するシステムとなっています。

【導入医療機関】

- 長崎県五島中央病院
- 長崎県上五島病院
- 壱岐市民病院
- 長崎県対馬いづはら病院
- 長崎県中対馬病院
- 長崎県上対馬病院
- 長崎県富江病院
- 長崎県奈留病院
- 小値賀町国民健康保険診療所
- 佐世保市立総合病院宇久診療所
- 国民健康保険平戸市民病院
- 平戸市立生月病院
- 医療法人 玄州会 光武内科循環器科病院

《緊急離島 依頼件数 平成 25 年》

| 4/15～4/30 | 5/ 1～5/31 | 6/ 1～6/30 | 7/ 1～7/31 | 8/ 1～8/31 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 11 | 20 | 15 | 30 | 15 |



《情報提供病院のあじさいネット登録受付時間》

| 地域 | 病院名 | あじさいネット登録受付時間 | | TEL | FAX |
|-----|------------|---------------|---------------|--------------|---------------|
| | | 平日(月～金) | 土・日・祝祭日 | | |
| 県 央 | 長崎医療センター | 8:30～17:00 | — | 0120-731-062 | 0120-731-063 |
| | 市立大村市民病院 | 8:30～17:15 | — | 0957-52-1800 | 0120-378-375 |
| | 長崎川棚医療センター | 8:30～17:15 | — | 0956-82-6420 | 0120-82-2970 |
| | 健康保険諫早総合病院 | 8:30～17:00 | — | 0957-22-1380 | 0120-1388-35 |
| 長 崎 | 光晴会病院 | 8:30～17:00 | (土)8:30～12:00 | 095-857-3563 | 0120-573-632 |
| | 十善会病院 | 9:00～17:00 | — | 095-821-1214 | 095-818-5388 |
| | 長崎大学病院 | 9:00～17:00 | — | 095-819-7930 | 095-819-7305 |
| | 長崎市立市民病院 | 8:30～17:00 | — | 095-822-3251 | 095-821-1116 |
| | 日赤長崎原爆病院 | 8:30～17:00 | — | 0120-845-261 | 0120-845-262 |
| | 済生会長崎病院 | 8:30～17:15 | (土)8:30～13:00 | 095-827-7021 | 095-827-7025 |
| | 聖フランシスコ病院 | 9:00～17:00 | (土)9:00～12:00 | 095-846-2553 | 095-845-7600 |
| | 井上病院 | 9:00～17:00 | (土)9:00～12:00 | 095-844-1281 | 095-849-6622 |
| | 長崎記念病院 | 8:30～17:00 | — | 095-871-1515 | 095-871-1510 |
| | 長崎北病院 | 9:00～17:00 | (土)9:00～12:00 | 095-886-8700 | 095-886-8707 |
| | 虹が丘病院 | 9:00～17:30 | (土)9:00～13:00 | 095-856-1112 | 095-856-1102 |
| 五 島 | 長崎県上五島病院 | 8:30～17:15 | — | 0959-52-3000 | 0959-52-8150 |
| | 長崎県五島中央病院 | 8:30～17:00 | — | 0959-72-3181 | 0959-75-0657 |
| 県 北 | 佐世保市立総合病院 | 8:30～17:15 | — | 0956-24-1515 | 0956-22-2850 |
| | 佐世保中央病院 | 8:30～18:00 | (土)8:30～12:30 | 0120-33-8293 | 0800-7000-070 |
| | 佐世保共済病院 | 8:30～17:30 | — | 0956-22-5136 | 0120-12-2067 |
| | 長崎労災病院 | 8:15～17:00 | — | 0956-49-2191 | 0120-666-437 |

表紙撮影☆談話

平成23年、長崎くんち 樺島町「太鼓山(通称:コッコデショ)」の写真です。
 10月9日くんち「後日」、つまり最後の奉納の『モッテコイ』の最後の瞬間です。
 2月の体力テスト(セレクション)から、夏の厳しい練習を経て、もうこのお諏訪さんで最後！という思いが担ぎ手他関係者の背中から伝わってくるような気がします。

記) ハシモト耳鼻咽喉科医院 橋本 清 先生(長崎市医師会理事)



*橋本先生は樺島町の『コッコデショ』のチームドクターをされています。
 踊町の当番は7年一巡となっており、コッコデショを次回観ることができるのは平成30年になります。



HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



これからの「医療」を考えています。

Empowered by Innovation **NEC**

地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークサービスで地域医療連携をご支援します。

NECの地域医療連携ネットワークサービス

まずはWebで、詳細情報を。www.megaok.com/ **【検索】**

お問い合わせは、NEC(医療ソリューション事業部)へ
〒108-8001 東京都港区芝五丁目1-1(NEC本社ビル) TEL. 03(3798)6756

人と地球にやさしい情報社会へ

<http://www.nec.co.jp/>

Good Health Creator, MEDical+sciENCE

独自の事業スタイルを基盤として
ヘルスケア分野に新たな潮流を生み出します。

東日本大震災に被災された皆様に対し、速くお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



□ 事業内容

- 臨床検査
(生化学的検査・血液学的検査・生化学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査・その他検査)
- 予防医学関連サービス
- 医療関連サービス
- 体外診断用医薬品・体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入
- 医薬品・化学品の毒性試験、薬効薬理試験
- ヒト観察による薬効・毒性評価
- 遺伝子・タンパク質解析
- 医薬品・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境/リスク評価サービス
- 食の安全サポート
- ドーピング検査

三菱化学メディエンス株式会社

〒108-8559 東京都港区芝浦四丁目2番8号
TEL.03(6722)4000(代表)

あじさいネット入会方法のご案内

1. 入会

入会申込書を事務局宛に送っていただきます。
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。
所属医師会が入会していない場合は、入会金が **50,000 円** 必要となります。尚、初期設定費用として別途 **30,000 円** を承ります。

2. 利用料金

月々4,000 円（レセプトオンライン請求も希望の場合は **5,000 円**）
と**年3,000 円**のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。

*TV 会議システム及び、遠隔画像診断システムの回線のみのご利用の場合も同額の料金となります。尚、高品質遠隔画像診断システムでは別途診断料金がかかります。

3. 機器の設置

機器設置用ヒアリングシートに必要事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。
シートに基づいて専門スタッフ（NTT 西日本ホームテクノ九州）が設置、動作確認に参ります。

4. 運用講習会

利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。

5. 同意書と登録

患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 10 分後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。

6. あじさいネットポータルサイトへのログイン

アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。

*手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。

入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内)担当：三浦、苑田
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

編集後記

あじさいネットは会員の会費のみで運営しておりますが、ここ数年は地域医療再生基金からあじさいネットの機能のサービス強化に利用させていただいています。あじさいネットでは、現在 21 拠点病院のカルテが利用できますが、各病院の電子カルテはそれぞれ違うにもかかわらず、2 種類の画面で全病院が利用できるよう利便性の強化を図った他、救急（離島）医療支援のための「遠隔画像診断システム」や、医師会間はもちろん会員や病院職員が活発に情報共有と連携ができるよう導入した「TV 会議システム」などもこの基金によるものです。先日、第三次の地域医療再生基金が決まりました。この基金は国の財政難の折、申請額 14 億円に対し示達が 9 億円と減額されたため、事業の多くが減額されております。しかしながら、あじさいネットは「国からの評価が高いとの理由に減額されなかった」と地元紙（長崎新聞）に掲載されました。今回は主に在宅医療支援機能の強化に使われます。機能が具体化しましたら改めてお知らせいたします。

*ご感想は、あじさいネット事務局「aj-na@nagasaki.med.or.jp」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 ajisai-project@nagasaki.med.or.jp
最新の情報は、HP をご覧ください。http://www.ajisai-net.org/



加瀬先生は、今回、中面記事にてご紹介しています。

○4 コマ漫画作者：詫摩和彦 先生○
長崎市医師会所属。
長崎在宅 Dr. ネット理事